

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 林業労働災害防止支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 担い手企画係 電話番号：058-272-1111(内3197)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 564 千円 (前年度予算額：564 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	564	282	0	0	0	0	0	0	282
要求額	564	282	0	0	0	0	0	0	282
決定額	564	282	0	0	0	0	0	0	282

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和2年の林業における労働災害の発生頻度は全産業の中で最も高く、全産業平均の約1.1倍と極めて高い状況にある。

令和2年の全国の林業死亡災害の発生状況を見ると伐木造材作業中の事故が全体の約6割を占め、そのうちチェーンソーを使った自己伐倒作業中による事故が約9割を占め非常に高い値となっている。

また、自己伐倒作業中における死亡作業の内訳は、技術不足等により自ら伐倒した伐倒木に激突が85%を占め、かかり木処理中の激突に15%となっているが、令和元年度ではかかり木処理中の死亡事故が約4割を占めている。安全な伐倒技術修得と、かかり木処理を適正に行うことが労働災害減少に繋がることから、これに必要な知識や技術修得のための研修を実施する。

(2) 事業内容

○安全衛生指導員養成研修会

作業現場等における安全巡回指導に必要な指導力向上を図るため、安全衛生巡回指導員を対象に研修会を開催する。

○かかり木処理等現地研修会

かかり木にならない伐倒技術の修得と、やかかり木処理の安全作業方法の周知徹底を図るため、現地実技研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助 1 / 2 (林業・木材産業成長産業化促進対策交付金)
県 1 / 2 (一般財源)

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	564	林災防岐阜県支部へ委託、講習会を開催
合計	564	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、森林技術者の確保・育成・定着は施策の柱に位置付けている。その目標値として、木材生産量10万m³当たりの労働災害発生件数を令和8年度に6件までの減少を目指している。

(2) 後年度の財政負担

後年後においても、国庫補助金を活用して実施していく。

(3) 事業主体及びその妥当性

<事業主体> 県(委託先:林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部)
<妥当性> 労働災害防止団体法に基づき設立された林業・木材製造業における労働災害の防止活動を行う唯一の団体のため適当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、木材生産量10万m³当たりの死傷災害発生件数を令和8年度までに6件まで減少することを目指している。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①死傷災害発生件数	12.1	12.1	—	10	6	50%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・かかり木処理現地実技研修会（2回）参加者数25人 ・安全衛生指導員養成研修（1回）参加者数9人
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>全国の死亡災害で発生している安全で正確な伐倒技術習得や、かかり木処理作業に関する研修を受けることは、林業労働災害防止につながるため、必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>長期的視点から、岐阜県における林業の死傷災害発生件数は減少傾向にあり、成果があがっている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>現場で作業をしている森林技術者を対象に実技指導を行うことにより、安全な作業方法を学習することが可能である。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 作業現場で指導する安全衛生指導員の指導技術向上を図る必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内における林業の死傷災害発生件数を減少させるためには、継続して労働安全対策を実施していく必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	なし
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	